

川崎市および「川崎市バス事業経営問題検討会」への提案書提出について

持続可能な地域交通を考える会（略称 SLTc、以下「当会」）は 2008年7月21日、川崎市および「川崎市バス事業経営問題検討会」事務局に宛てて提案書

市バスと市政が連携し、持続可能な地域交通の利用推進を！
— 市バスの経営戦略と川崎市の交通政策に関する提案書 —

を提出いたしました。

これは、川崎市交通局が運営する路線バス事業の経営問題を検討するため市長からの諮問を受けて本年度発足した「川崎市バス事業経営問題検討会」（以下「検討会」）での審議状況や開示情報をもとに当会で検討したところ、議論が尽くされていない点や、加えて議題とすべき点などが見出されたため、それらを取りまとめ提案書として同日付で検討会事務局宛に提出したものです。

また、これは交通局内に限った問題ではなく、むしろ市民生活に直結する交通政策や地球温暖化をはじめとする環境問題への対策・適応策として市全体で検討すべき課題と考えられたため、川崎市の担当部局にも提出をするとともに、市内の報道機関各位にもお知らせしております。

本文は当会ホームページ <http://sltc.jp/file/2008/200807kawasakibus.pdf> (PDF 2.9MB) に掲載する形で公開しており、どなたでもご覧いただけます。その要旨は次のとおりです。

1. 公共交通の利用をすすめる必要性の確認
2. モビリティ・マネジメントの推進により政策的に路線バスの利用を促すことのすすめ
3. 川崎市交通局と他の公共交通機関との連携のすすめ
4. 第4回検討会での事務局試算に関する疑問点の指摘とその確認
(主に乗車人員見込みと燃料費の情報開示について)
5. 川崎市交通局（市バス）と川崎市の政策を連携させることのすすめ
6. 市バスが自ら環境広告・イメージ広告を行い、公共交通の利用を呼びかけることのすすめ

当会は今後も、川崎市を中心に諸会と連携しつつ、持続可能な地域交通の活用により地域住民の生活環境の向上に向けて取り組んでまいります。

以上

持続可能な地域交通を考える会 (SLTc)
<http://sltc.jp/>

担当：井坂 <isaka@sltc.jp>
お問い合わせ→ <http://sltc.jp/query>
FAX: 020-4664-6084

【持続可能な地域交通を考える会】

自動車もたらす様々な公害や気候変動などの環境問題を鑑み、クルマに頼らず持続可能な地域交通を求める諸活動を行ってきた有志が集い2008年に市民活動団体として活動開始。同年7月現在では交通・環境分野に関心を持つ川崎市民を中心に10名あまりが参加し、川崎市を中心に活動を進めている。他地域で活動する諸会と連携しつつ、交通・環境分野における地域の課題を見出し、持続可能な市民生活を実現するための地域交通の在り方を議論・提言している。略称 SLTc。
現在は、自動車の氾濫による大気汚染や道路需要の増加（渋滞、道路建設による環境破壊や経済的損失等）が深刻な川崎市域の実情を踏まえ、とりわけ「マイカー」の氾濫もたらす様々な社会・環境問題とそれを抑制するための切り札となりうる公共交通の活用について検討を重ねている。定例会は毎月第2木曜日夜または土曜日午後に開催しており参加自由。詳しくはホームページ <http://sltc.jp/> を参照。